

グループホームどうみょうじ高殿苑 第3回運営推進会議議事録

日時 平成20年11月26日(水) 13時 30分 ~ 14時 45分

場所 (社福)邦寿会 どうみょうじ高殿苑 地域交流スペース

出席者			
事業者	6名	市職員	1名
利用者	1名	包括職員	1名
利用者家族	2名	有識者	1名
住民代表	3名	介護相談員	2名

議題

【事業者からの活動状況報告】

(1)特別養護老人ホーム

- ・4月以降、28名の方が介護認定調査の更新を受けられ、その大半の方が要介護度が下がった。
- ・ご本人・ご家族・職員とカンファレンスの2順目を終了。
- ・各ユニットに「ユニット費」として、毎月一定額を支給し、ご入居者の生活の役に立つもの(具体的には、雑誌や生活雑貨など)を購入している。

(2)グループホーム

- ・介護認定調査の更新を受けられ方は、要介護度が上がっている。
- ・ご入居者に出来ることをしてもらい、掃除や洗濯、花の水やりなど、職員と一緒にやっている。
- ・ご入居後に発見された脳梗塞の発症者の機能回復として始めた体操は、現在は他のご入居者も一緒にされている。

【活動状況報告に対する評価】

- ・「入居して介護度は改善するものか？母も食事の際に車椅子で離床して食べることになり、顔色も良くなってきているように思う。」(ご家族)  
「個室」という環境が自発的な意欲の触発を促したり、栄養管理した食事やきっちとした介護を提供することで、お元気になることができる。
- ・食事をすることが大きな楽しみ。個々の状態や体調により、食事形態を工夫してもらい、ありがたく思っている。(ご家族)
- ・食事のメニューが一通り出て、好き嫌いが多い自分であるが、嫌いな食事は栄養士や職員が調理方法や提供の仕方を工夫してくれて、安心して食べられている。(ご入居者)
- ・食事がおいしいことは、運動量の少ないご入居者にとっては肥満に繋がり易い。いかに運動の機会を作るかが課題である。(有識者)
- ・ユニット内の掃除を職員ですると、ご入居者の見守りが不十分になるのでは。(介護相談員)  
実質そういう面があり地域の方のご協力も得たいが、生活の場であるが故に不特定多数の方が入られるのではなく、固定の方であればお願いしたい。
- ・ユニットという単位を職員は意識しているだろうが、ご入居者はどう感じているか。(市職員)
- ・ご入居者・ご家族からの要望や苦情に対し、しっかりと応えられていることを確認でき安心した。(包括職員)
- ・スリッパが滑り易いが、今まで事故はなかったか？(住民代表)  
現在は無いが、スリッパの裏面の素材等について確認する。
- ・今回、90数名の地域の独居高齢者向けに食事会を実施して頂いたが、真空調理の食事に皆さん満足されていた。骨まで食べられることが喜ばれていた。(住民代表)

【運営推進会議からの要望・助言】

- ・道明寺天満宮で、11月25日の午前中に「大根炊き」、2月に「梅見」がある。(住民代表)

【その他】

特に無し